

複合型施設整備計画

福祉施設×商業施設×公共交通ターミナル×公共駐車場

図 企画課

今回は、整備計画の中で、複合型施設への整備を検討している「高齢者福祉センター」について説明します。



高齢者福祉センターとは？

「高齢者福祉センター」は、老人福祉法に基づき設置される施設で、高齢者に関する各種相談、健康の増進、教養の向上、レクリエーション等の事業を行うことを目的として、無料又は低額な料金で利用することができます。また、事業内容に応じて、建物規模や必要設備等の基準が定められています。

現在の高齢者福祉センター「糠塚園」は、高齢者の憩いの場として、昭和48年1月に開設され、市内にお住まいの原則60歳以上の人を対象として、健康相談や運動教室、囲碁・フラダンス・生花・書道等の教養講座や入浴等を中心とした事業が行われています。施設利用者数は年間延べ約2万人となっています。

しかしながら、開設から45年が経過しているため老朽化が著しく、また、耐震強度も不足していることから、早急に再構築を進めていくことが課題となっていました。



- ①糠塚園で行われている運動教室には大勢の人が参加している。
- ②人気の入浴施設も老朽化が著しい。
- ③健康な体を維持するためトレーニングルームを完備。
- ④フラダンス教室は利用者から好評をいただいている。



小諸市の現状と今後の方向性

平成30年6月1日現在、小諸市における高齢化率は31.2%となっています。いわゆる団塊の世代が75歳以上となる平成37年(2025年)には、33.7%まで達すると見込まれており、市民の3人に1人が高齢者ということになります。また、高齢化に伴いひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯も増加しています。一方で、高齢者を支える若年層や介護サービスの担い手は減少しており、高齢者の生活を支援する仕組みづくりが急務となっています。

そのため、今年度から平成32年度(2020年度)までの3か年計画として策定した「第8期高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」においては、高齢者福祉センターを高齢者の社会参加や生きがいがづくりの拠点として位置付け、介護予防をはじめとした各種教室や交流の場となるサロンを開催するなど、より一層の利用推進を図ることとしています。